

活動報告書

●活動名：開校式及び田植え

●活動のめあて（目的、目標）：

米作りや田んぼに棲んでいる生きもの調査を行い、農業や農村、環境についての感性を豊かにする。

●日 時：平成27年5月8日（金） 13：00～14：00

●天 気：晴れ

●場 所：埴小学校 学校田

●当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員		3名
小学校教諭		5名
児童		47名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）	○	10名
保護者		2名

●当日の活動場所見取り図



学校田全容（手前は手植え区画、奥は機械植え区画）


●事前準備


前日までの準備	
<p>実施したこと・準備したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合の方々に学校田の準備（代かき、黒塗り、水管理、苗の育成）をしていただいた。 ・平成27年4月28日に学校田の状況を確認した。 	<p>参考画像</p> 
当日の準備	
<p>実施したこと・準備したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農事組合の方々に苗、ガジ棒（筋引き用道具）、田植機の準備をしていただいた。 	<p>参考画像</p>  <p>ガジ棒</p>

●準備物一覧

準備物	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> ・田植機 ・ガジ棒（筋引き用道具） ・苗（うるち米、もち米） <p>上記を農事組合の方々に用意していただいた。</p> 	

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
13:00	<p>開校式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉 2 校長先生のお話 「米はその名のとおり、88の手間と88日かけて作られます。今回は、その苦勞の一部を体験してお米のありがたさを学んでください。」とお話がありました。 3 お世話になる方々からのお話 <ul style="list-style-type: none"> ・台宿水と資源を守る会長（松本さん） ・農林事務所（玉川課長） ・稲の説明（戸井田さん） ・筋引きの説明（星さん） 4 田植え 	 
13:15	<p>・約 900 m²の学校田は大区画と小区画の2つに分かれており、大区画では田植機によりもち米を、小区画では5年生児童による手植えにより、うるち米の苗を植えました。</p>	 

<p>14:00</p>	<p>・田植え後は学校田に隣接する水路にて泥を洗い流しました。</p> <p>5 お礼の言葉 「最初は田んぼへ入ることに戸惑ったけど、入ってみるとグニュという何ともいえない感覚で入っているうちに楽しくなった。」「気持ちよく田植えができた。」等の言葉をいただきました。</p> <p>6 おわりの言葉</p>	
--------------	---	--

●活動の成果・効果

<p>活動の成果</p>	<p>・今まで経験したことがないためか、児童達は皆、目を輝かせて田植えを行っていた。手植えの体験と機械植えを見ることで昔の人々の苦勞と技術の進化を肌で感じ、農業に対する理解を深める活動になったと思われる。</p>
<p>児童の感想</p>	<p>・最初は田んぼへ入ることに戸惑ったけど、入ってみるとグニュという何ともいえない感覚で入っているうちに楽しくなった。気持ちよく田植えができた。</p>
<p>小学校の感想</p>	<p>・田植えという体験活動を通して、日頃あたり前に食べているお米ができるまでのことを詳しく知ることができた。また、自分たちの学習に地域の方が熱心に協力し、指導して下さったことへの感謝の気持ちをもつことができた。その後、子どもたちは、毎日田んぼに行き、苗の生長を楽しみに観察を続けることができている。</p>
<p>地元農家の感想</p>	<p>・児童達がとても上手に田植えをしていた。泥を洗った水路で泳ぐ子が出なかったのでもっともいい子ばかりであった。</p>